

会 議 録

1 会議名

第11回浦川原区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○ 報告事項

(1)上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組の対応（案）について

(2)廃校施設の利活用について

○ その他

○ 次回の開催日について

3 開催日時

令和8年3月19日（木）午後6時00分から6時40分まで

4 開催場所

浦川原コミュニティプラザ 4階 市民活動室4・5

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：市村（千）委員（副会長）、小野委員（副会長）、北澤（正）委員（会長）、
金子委員、五井野委員、杉田委員、西山委員、松野委員
- ・ 事務局：浦川原区総合事務所 坂井所長、山崎次長、保倉次長、長谷川建設グループ長、
廣田産業グループ長、中島農政班長、西山教育・文化グループ長、
村松地域振興班長、原田主任
- ・ 資産活用課：戸松副課長、藤野主事

8 発言の内容

【山崎次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・出席者は8人で、欠席委員は市村（一）委員、竹内委員、水澤委員
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しているので、会議が成立する旨を報告

【北澤会長】

上越市審議会等の会議の公開に関する条例施行規則第5条第2項により、会議録の内容について、地域協議会が指定した委員の確認をいただく事になっている。

本日の会議録の確認について、杉田委員に確認をお願いします。

それでは、「2 報告」に入る。(1)上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組の対応（案）について担当課である資産活用課より説明をお願いします。

【戸松副課長】

資料No. 1、参考資料、資料No. 1－2に沿って説明

【北澤会長】

今ほどの説明に対し、質問や意見等はあるか。

（質問、意見なし）

続いて、(2)廃校施設の利活用についても、資産活用課より説明をお願いします。

【戸松副課長】

市では、公の施設が老朽化し多額の維持管理費が掛かる中、市民ニーズや社会経済情勢の変化等に対応し得る安定した財源の確保並びに、将来的な財政負担を軽減するため、令和5年度から財務部に資産活用課を新設し、売却が可能な資産の処分に注力しているところである。

少子化の影響で、全国では毎年約450校が廃校になっていると言われていたが、文部科学省では、「みんなの廃校プロジェクト」を立ち上げ、活用用途を募集している全国の廃校施設情報を集約・発信する取組やイベントの開催、廃校活用事例の紹介等を通じて、廃校施設の活用を推進している。

当市においても同様に小中学校の廃校施設が増える中、一部で学校以外の行政用途への転用や民間事業者による利活用に取り組んできたが、依然として未利用の廃校施設も多く残っているのが現状である。そのため市では、令和7年4月から6月にかけて、浦川原区内の旧末広小学校、旧中保倉小学校を含む計15の廃校施設について、民間事業者の需要を探る「廃校施設の利活用に関するサウンディング（民間対話）型市場調査」を実施した。当該市場調査におい

て一定の需要が確認された旧安塚中学校は、公募型プロポーザル方式にて利活用者の募集に取り組んでいる。

浦川原区内の廃校施設である、旧末広小学校及び旧中保倉小学校の2校については、市場調査において複数の事業者から現地見学いただいた。残念ながら利活用アイデア等の提案はなかったが、サウンディング（民間対話）型市場調査と並行して、市としての利活用の方法も市内部で検討を行った。2校については、市として施設の一部に物品等を保管している現状があり、合併前上越市のほか、安塚区や大島区、頸北地域とのアクセスが比較的良好いため、物品等の保管の集約場所としての利用に適していると整理した。以上のことから、旧末広小学校及び旧中保倉小学校の2校については、今後は、避難所機能を維持しつつ、市の物品保管庫として利用していきたいと考えている。

【北澤会長】

今ほどの説明に対し、質問や意見等はあるか。

【西山委員】

旧末広小学校と旧中保倉小学校について、市の物品などの集約場所及び避難所として活用することのだが、体育館や給食室等を部分的に民間事業者を活用してもらおう考えはないか。

【戸松副課長】

部分的な利活用というアイデアは良いと考えるが、浦川原区の2校については、公文書や市の物品の保管、避難所機能として利用を想定しているため、部分的な利活用は考えていない。

【西山委員】

市の貴重な財産を保管するにあたり、防犯面などを強化するための予算投入の考えはあるか。

【戸松副課長】

現時点では、新たな予算を投入して大規模な修繕や改修を行う予定はなく、現状のまま利活用する考えである。

【小野副会長】

校舎以外の設備、例えばグラウンドやプール跡地の管理について、市の考え方を伺いたい。

【戸松副課長】

先般実施したサウンディング（民間対話）型市場調査においても、グラウンド部分に興味を持った事業者はあったものの、実際の提案には至らなかった。立地条件等を総合的に考えると、民間事業者での利活用は難しいと考えているが、グラウンドだけ利活用したいという話があった際には、その時点で検討したいと思う。

【小野副会長】

グラウンドなど屋外の部分については、今後荒れていくことも考えられる。廃校施設の維持管理について市の対応を伺いたい。

【戸松副課長】

行政利用が終了した施設についても、適切に管理していく必要がある。今後、利活用を希望する事業者が現れる可能性もあることから、これまでどおり適切な管理を行っていく考えである。

【杉田委員】

物品等の保管場所として使用しながら避難所として活用するということだが、避難所として活用するのは、体育館のみであり、教室などについては物品等を保管するため、避難所として活用しないという理解でよいか。

【山崎次長】

避難所としての機能の中で、体育館を避難所スペースとして確保しているのはもちろんであるが、そのほか一部の教室についても、障害のある人や高齢者、また感染症対策の観点から、避難所スペースとして確保している。関係する地元の町内会とも共有しており、体育館のみを避難所として使用するものではない。

【北澤会長】

浦川原区の2校について、上越市として利活用するということだが、今後、民間事業者から利用希望があった場合の対応を伺いたい。

【戸松副課長】

様々な利活用の需要を踏まえたうえで、浦川原区の2校については、行政財産として利活用していくという方向で決定したものである。ただ、民間事業者から相談等があった場合には、内容を丁寧に伺い、地域にとってメリットがあると判断された場合には、決定した方向性を見直すことも考えられる。

【杉田委員】

物品等を保管するということだが、これは浦川原区や近隣区の物品を保管するものなのか、それとも、市内全体の行政文書や物品を集約するということか、教えていただきたい。

【戸松副課長】

市内全体の行政文書や物品を集約するという考えである。

【北澤会長】

ほかに意見や質問等はあるか。

(意見なし)

ここで、資産活用課の職員は退席いただく。

「3 その他」に入る。次第にはないが「委員報告」についてである。事務局で事前に受付しているものはないが、そのほかに委員の皆さんから報告する事項はあるか。

(報告なし)

私から一点報告する。3月15日日曜日に第36回東京浦川原会総会が上野で開催され、その中で、東京浦川原会が解散することで決定された。高齢化が主な理由であるということである。東京浦川原会は解散するが、NPO夢あふれるまち浦川原が主体となり、交流会のような催しを検討していくという話もあった。今まで繋いできた交流の場が継続されることは大変ありがたいと、そのような動きがあった場合には、私どもとしても可能な範囲で協力していきたい。

次に「4 次回の開催日について」である。令和8年度第1回浦川原区地域協議会の開催日についてだが、案として4月28日火曜日を提案する。この日程でいかがか。

(会場から「はい」の声)

それでは、令和8年度第1回浦川原区地域協議会は、4月28日火曜日18時30分からとする。

また、第2回浦川原区地域協議会の日程だが、5月22日金曜日を予定している。事務局職員の異動もあることから、地域協議会後に懇親会を考えている。詳細は第1回地域協議会の際に改めて案内するので、よろしく願います。

以上で、第11回浦川原区地域協議会を閉会する。

9 問い合わせ先

浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-599-2301 (内線 305)

E-mail : uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別途の会議資料もあわせてご覧ください。